

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4187379号  
(P4187379)

(45) 発行日 平成20年11月26日(2008.11.26)

(24) 登録日 平成20年9月19日(2008.9.19)

(51) Int.Cl. F I  
**HO4M 1/2745 (2006.01)** HO4M 1/2745  
**GO6F 13/00 (2006.01)** GO6F 13/00 G O I C  
**HO4M 1/57 (2006.01)** HO4M 1/57

請求項の数 2 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2000-72367 (P2000-72367)	(73) 特許権者	000005821
(22) 出願日	平成12年3月15日(2000.3.15)		松下電器産業株式会社
(65) 公開番号	特開2001-268206 (P2001-268206A)		大阪府門真市大字門真1006番地
(43) 公開日	平成13年9月28日(2001.9.28)	(74) 代理人	100099254
審査請求日	平成18年2月9日(2006.2.9)		弁理士 役 昌明
		(74) 代理人	100100918
			弁理士 大橋 公治
		(74) 代理人	100105485
			弁理士 平野 雅典
		(74) 代理人	100108729
			弁理士 林 紘樹
		(72) 発明者	山本 修
			宮城県仙台市泉区明通二丁目五番地 株式 会社 松下通信仙台研究所内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電話帳登録装置と通信端末装置と電話帳登録方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも電子メールアドレスと電話番号情報と氏名を含む複数の項目を登録可能な電話帳情報を蓄積する電話帳情報蓄積部と、電子文章を表示する表示部と、前記表示部に表示中の前記電子文書から選択された文字列が、数字、または、数字と特定の記号、または、アットマークおよびピリオドを含む任意の文字列、または、httpで始まる文字列のいずれかに該当するか否かを判定する判定手段と、前記判定手段にて、いずれにも該当しないことを判定した場合、前記文字列を前記電話帳情報の氏名設定項目に登録する電話帳情報登録手段と、を備えることを特徴とする電話帳登録装置。

【請求項2】

無線基地局と通信して電子メールを送信または受信する通信部と、請求項1に記載の電話帳登録装置とを備える通信端末装置であって、前記電子文書は電子メールであることを特徴とする通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子メールの送受信機能および電話帳機能を備えた携帯無線電話装置に関するもので、受信した電子メール(以下、受信電子メールという)に記載のある文字列を電話帳情報蓄積部に登録されている文字列と照合することによって、その文字列に関連する接続情報(電話番号、メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス)

を導出することができ、さらにその接続情報を使用者に選択させることにより、所望の発信動作を行うことができる携帯無線電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

受信電子メール内に記述された電話番号に対して音声発呼することができるとともに、受信電子メール内に記述された電話番号を登録することができる情報通信端末として、特開平10-155038号に記載されたものが知られている。これは、情報通信端末で受信した電子メール内の電話番号を検索し、検索された電話番号に対して、あるいは、電子メールに付与された送信元電子メールアドレスに基づいて、対応する相手の情報が情報通信端末に保有している電話帳に登録されているかを検索して、照合された電話番号に対して発呼するというものである。

10

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、この情報通信端末では、受信電子メール中の電話番号と、受信電子メールに付与されている電子メールアドレスに対応する電話番号に対する発呼や、データ発信にしか対応できないという問題がある。

【0004】

本発明は上記の問題を解決するためになされたもので、受信電子メール中の氏名や名称等、使用者が選択した任意の文字列を携帯電話装置に保有している電話帳情報蓄積部から検索し、該当する電話帳情報に設定されている電話番号に対する発呼、電子メールアドレスへのメールの作成・送信や、インターネット上の資源の閲覧を行う機能を有する携帯電話装置を提供することを目的とする。

20

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の携帯無線電話装置は、有線電話回線に接続される交換局に有線接続される複数の無線基地局と無線チャンネルにより通信を行い、音声通話、電子メールの送受信、およびインターネット上の資源の閲覧を行うことができ、かつ電話帳機能を有する携帯無線電話装置において、表示部に表示中の受信電子メールの文字データの中から選択された任意の文字列を電話帳情報蓄積部に登録する電話帳情報登録手段と、前記表示部に表示中の受信電子メールの文字データの中から選択された任意の文字列を電話帳情報蓄積部から検索する電話帳情報検索手段と、前記検索の結果照合された文字列に関連する接続情報の中から選択された発信先に対して発信を行う発信手段とを備えたことを特徴とする。この構成により、受信電子メール中の任意の文字列を使用者に選択させ、その文字列を電話帳情報蓄積部から検索し、照合された文字列に関連する接続情報を使用者に選択させ、所望の発信操作を行うことが可能となる。

30

【0006】

また、電話帳情報登録手段は、選択された文字列が電話帳情報のどの項目に該当するのかを判定し、該当する項目に登録することを特徴とする。この構成により、受信電子メールから選択された文字列が、電話番号、電子メールアドレス、インターネット上の資源に接続するためのアドレスか、あるいはそれ以外の文字列かを判定し、電話帳情報の該当する項目に設定することが可能となる。

40

【0007】

さらに、電話帳情報登録手段は、電話番号、電子メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス、およびそれ以外の任意の文字列を1件の電話帳情報として関連付けて管理することを特徴とする。この構成により、使用者が、受信電子メール内の任意の文字列から、所望する接続情報を検索することが可能であり、文字列に該当する電話帳情報の設定内容を修正することが可能となる。

【0008】

そして、検索の結果照合された文字列に関連する接続情報の中から選択された電子メールアドレスに対して発信手段により発信を行うことを特徴とする。この構成により、受信電

50

子メール中の任意の文字列を使用者に選択させ、その文字列を電話帳情報蓄積部から検索し、照合された文字列に関連する接続情報の中から電子メールアドレスを使用者に選択させ、電子メールの送信を行うことが可能となる。

【0009】

また、検索の結果照合された文字列に関連する接続情報の中から選択されたインターネット上の資源を閲覧するためのアドレスに対して発信手段により発信を行うことを特徴とする。この構成により、受信電子メール中の任意の文字列を使用者に選択させ、その文字列を電話帳情報蓄積部から検索し、照合された文字列に関連する接続情報の中からインターネット上の資源を閲覧するためのアドレスを使用者に選択させ、インターネット上の資源を閲覧することが可能となる。

10

【0010】

そして、検索の結果照合された文字列に関連する接続情報の中から選択された電話番号に対して発信手段により発信を行うことを特徴とする。この構成により、受信電子メール中の任意の文字列を使用者に選択させ、その文字列を電話帳情報蓄積部から検索し、照合された文字列に関連する接続情報の中から電話番号を使用者に選択させ、発呼することが可能となる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0012】

(第1の実施の形態)

まず、図1乃至図2を参照して、本発明の実施の形態における携帯無線電話装置を詳細に説明する。図1は本発明の実施の形態における携帯無線電話装置の構成を示すブロック図、図2は図1に示す携帯無線電話装置の動作手順の一例を示すフローチャートである。

20

【0013】

次に図1を参照して、本発明の第1の実施の形態における携帯無線電話装置の構成を詳細に説明する。図1に示すように、携帯無線電話装置Aは、音声の入力を行うマイクロフォン1と、音声の出力を行うスピーカ2と、マイクロフォン1およびスピーカ2の音声の制御を行う機能を備えた音声信号処理部3と、音声信号や電子メールデータの通信を可能にすべくこれらの信号の変復調機能を備えた通信制御部4と、CPU等で構成された制御部5と、表示すべき情報の制御を行う表示情報制御部6と、液晶表示器等で構成されたディスプレイ7と、テンキーやその他のキーで構成された入力部8と、氏名、電話番号、メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス等を電話帳情報として記憶管理する電話帳情報蓄積部9とを備えている。

30

【0014】

入力部8は、携帯無線電話装置Aを操作するためのキー押下等を入力する機能を有し、電子メールの入力や、電話帳情報蓄積部9に蓄積する情報を入力する機能と、ディスプレイ7に表示されている受信電子メール中の文字から使用者が所望する任意の文字列を選択する機能も有している。

【0015】

携帯無線電話装置Aで受信した電子メールの内容は、表示情報制御部6により、ディスプレイ7に表示される。表示された受信電子メール中の任意の文字列を入力部8により入力された信号により、制御部5が表示情報制御部6を制御して、選択された文字列を点滅表示、反転表示等により使用者に報知する。使用者の電話帳検索指令を入力部8より受け付けた場合、制御部5は選択された文字列を電話帳情報蓄積部9から検索し、照合した情報を表示情報制御部6によりディスプレイ7に表示させる。ディスプレイ7に表示された電話番号、電子メールアドレス、およびインターネット上の資源を閲覧するためのアドレスの中から、使用者が所望する接続情報が入力部8より選択されると、制御部5は使用者が選択した情報を基に次の該当する処理を行う。

40

【0016】

50

電話番号が選択された場合には、音声信号処理部 3 および通信制御処理部 4 を制御して発呼動作を行い、マイクロフォン 1 からの音声受付と、スピーカ 2 からの音声出力の通話動作を行う。

【 0 0 1 7 】

電子メールアドレスが選択された場合には、表示情報制御部 6 を制御して、ディスプレイ 7 に対して、使用者からのメール作成のための入力を入力部 8 を介して受け付けて表示し、送信するメール情報を作成して、通信制御部 4 を制御し、作成したメールを送信する。

【 0 0 1 8 】

インターネット上の資源を閲覧するためのアドレスが選択された場合には、通信制御部 4 を制御して、回線接続を行った後に、インターネット上の該当アドレスの情報を取得して、表示情報制御部 6 を制御し、ディスプレイ 7 に表示させる。

10

【 0 0 1 9 】

使用者からの電話帳情報登録指令を入力部 8 より受け付けた場合、制御部 5 は、使用者により選択された文字列を電話帳情報蓄積部 9 に登録した後に、登録した情報以外の情報に対する使用者からの情報の入力を入力部 8 を制御して受け付け、表示情報制御部 6 を制御してディスプレイ 7 に設定情報を表示させる。

【 0 0 2 0 】

次に、図 2 のフローチャートを参照して本発明の第 1 の実施の形態における携帯無線電話装置において電子メールを表示し、電子メール中の文字列を使用者が選択した、際の動作手順を説明する。

20

【 0 0 2 1 】

まず、ステップ A100 において受信したメールをディスプレイ 7 に表示し、ステップ A200 において使用者が入力部 8 を用いて任意の文字列の選択を行わせ、ステップ A300 において使用者が電話帳情報の登録を選択したか、または電話帳情報の検索を行い、発信する処理を選択したかを判定する。そして、使用者の選択が電話帳情報の登録であれば（ステップ A300 で yes）、ステップ A400 の電話帳登録処理に進み、使用者の選択が電話帳情報の登録処理ではなく、電話帳情報の検索を行い、発信する処理であれば（ステップ A300 で no）、ステップ A500 の電話帳検索処理に進む。

【 0 0 2 2 】

ステップ A400 では、選択された文字列を電話帳情報の 1 レコードに対して設定し、設定された項目以外の情報の設定を使用者の入力に従い設定し、設定された全ての情報を電話帳情報蓄積部 9 に保存する。

30

【 0 0 2 3 】

ステップ A500 では選択された文字列を検索対象文字列として該当情報を電話帳情報蓄積部 9 から検索して、ステップ A600 に進む。ステップ A600 ではステップ A500 で検索された電話帳情報を表示させ、実行したい処理、例えば、電話番号への発呼、電子メールの作成・送信、インターネット上の資源の閲覧等の選択を入力部 8 を用いて使用者に行わせ、ステップ A700 へ進む。ステップ A700 では、ステップ A600 で選択された処理に従い、送信データを作成して、音声、データの発信処理を行い、電子メール中の文字列を使用者が選択した際の動作を終了する。

40

【 0 0 2 4 】

なお、前記第 1 の実施の形態における、ステップ A600 において、検索されたデータを用いた発呼への動作、つまり、検索の結果、照合されたデータが存在した場合を例に記述しているが、検索の結果、照合されたデータが存在しない場合、ステップ A400 の電話帳登録処理を実行させることで、未登録情報であるところの、新規情報の登録を行うことができる。

【 0 0 2 5 】

以上のように、本発明の第 1 の実施の形態における携帯無線電話装置は、使用者が電話番号、メールアドレス、あるいはインターネット上の資源を閲覧するアドレス等の発信先情報を入力することなく、音声通話や、データ送受信を行うことができる。

50

## 【 0 0 2 6 】

( 第 2 の実施の形態 )

次に図 3 を参照して、本発明の第 2 の実施の形態における携帯無線電話装置を詳細に説明する。この図において、( a ) は本発明の第 2 の実施の形態における受信電子メールの一表示例、( b ) は表示中の受信電子メールから任意の文字列を選択した時の一表示例、( c ) は処理選択画面の一表示例、( d ) は電話帳情報の表示と、発信先選択実施の際の一表示例、( e ) は送信電子メール編集画面の一表示例である。なお、本発明の第 2 の実施の形態における携帯無線電話装置の基本構成および基本動作は第 1 の実施の形態と同じである。

## 【 0 0 2 7 】

この第 2 の実施の形態における携帯無線電話装置は、前記第 1 の実施の形態で説明した、受信電子メール中の任意の文字列を選択させ、電話帳情報蓄積部を検索して、発信、発呼を行うように構成されている。また、電話帳情報は、氏名、電話番号、電子メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス、その他の情報を設定するメモ“MEMO”により構成されており、前記電話帳情報蓄積部は、氏名、電話番号、電子メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレスを関連付けて記憶することができる。

## 【 0 0 2 8 】

次に、本発明の第 2 の実施の形態における携帯無線電話装置の受信メール表示から発信する際の動作手順について説明する。

## 【 0 0 2 9 】

図 3 ( a ) で表示している受信電子メールの内容より、使用者が文字列を選択する。図 3 ( b ) は任意の文字列が選択された様子を示しており、受信電子メール中の“松下太郎”が選択され、選択範囲が反転表示されている。選択される文字列データは使用者が指定する任意の文字列情報とする。上述の例では選択された文字列を示すために、反転表示を使用しているが、点滅表示や、下線表示、あるいは、音声による読み上げにより報知を行ってもよい。

## 【 0 0 3 0 】

図 3 ( c ) では、使用者に“発信、発呼する”か、または“電話帳に登録する”を選択させる。“発信、発呼する”は、選択された文字列を電話帳情報蓄積部に蓄積されている文字列から検索し、照合できた場合、発信、発呼を行う処理であり、“電話帳に登録する”は、電話帳情報蓄積部に対して登録されている情報の修正、登録を行う処理である。なお、“発信、発呼する”において、照合に失敗した場合には、電話帳情報蓄積部への登録処理を行う、“電話帳に登録する”を使用者の入力を待たずに実行する。

## 【 0 0 3 1 】

図 3 ( d ) では、選択された文字列を電話帳情報蓄積部から検索し、照合された文字列に関連する電話帳情報を表示させ、送信を行うための接続情報を入力装置を用いて使用者に選択させる。本例では、電子メールアドレス“matsushita@matsu.co.jp”が選択されているので、図 3 ( e ) の表示例に示すように電子メールの入力を行わせる。図 3 ( d ) で電話番号“06-444-5555”が選択された場合には、選択された電話番号への発呼を行い、インターネット上の資源に接続するためのアドレス“http://www.matsu.com”が選択された場合には、指定されたアドレスのインターネット上の資源を閲覧させる。なお照合の結果、複数の情報が示された場合、初めに照合された情報のみを表示させてもよいし、照合された全ての結果から使用者に所望する情報を選択させてもよい。

## 【 0 0 3 2 】

以上のように、本発明の第 2 の実施の形態における携帯無線電話装置は、使用者が選択した文字列が、氏名のような発信情報以外の文字列である場合でも、氏名やMEMOのような発信には影響のない情報と、電話番号等の発信先情報を関連付けて電話帳情報蓄積部に記憶する電話帳情報記憶機能(電話帳情報登録手段)と、電話帳情報蓄積部に記憶されている情報の中から、該当する情報を検索することができる電話帳情報検索機能(電話帳情報検

10

20

30

40

50

索手段)とを有しているので、該当情報に対する修正や、発信動作に要する操作を抑制することができる。

【0033】

(第3の実施の形態)

次に図4を参照して、本発明の第3の実施の形態における携帯無線電話装置を詳細に説明する。この図において、(f)は本発明の第3の実施の形態における電子メールの一表示例、(g)は本発明の第3の実施の形態における表示電子メールから任意文字列選択時の一表示例、(h)は処理選択画面の一表示例、(i)は電話帳機能への登録を行うの際の一表示例、(j)と電話帳機能への登録がなされた画面の一表示例である。なお、本発明の第3の実施の形態における携帯無線電話装置の基本構成および基本動作は第1の実施の形態と同じである。

10

【0034】

本発明の第3の実施の形態における携帯無線電話装置は、前記第1の実施の形態、第2の実施の形態で説明した、受信電子メール中の任意の文字列を使用者に選択させて、電話帳情報蓄積部を検索し、発信、発呼を行うように構成されている。また、使用者が選択した文字列を電話帳情報蓄積部に登録することのできる電話帳情報登録機能(電話帳情報登録手段)も有している。前記電話帳情報登録機能には、使用者が選択した文字列の内容を判断して、電話帳情報のどの項目に設定するかを推測して、あらかじめ該当する項目に設定する機能がある。

【0035】

20

次に、本発明の第3の実施の形態における携帯無線電話装置の受信メール表示から発信する際の動作手順について説明する。

【0036】

図4(f)で表示している受信電子メールの内容より、使用者が文字列を選択する。図4(g)は任意の文字列が選択された様子を示しており、電子メール中の“松下太郎”が選択され、選択範囲が反転表示されている。選択される文字列データは使用者が指定する任意の文字列情報とする。上述の例では選択された文字列を示すために、反転表示を使用しているが、第2の実施の形態と同様に点滅表示や、下線表示、あるいは、音声による読み上げにより報知を行ってもよい。

【0037】

30

図4(h)では、使用者に“発信、発呼する”か、または“電話帳に登録する”を使用者に入力装置を用いて選択させる。“発信、発呼する”は、選択された文字列を電話帳情報蓄積部に蓄積されている文字列から検索し、照合できた場合、発信、発呼を行う処理であり、“電話帳に登録する”は、電話帳情報蓄積部に対して登録されている情報の修正、登録を行う処理である。なお、“発信、発呼する”において、照合に失敗した場合には、電話帳情報蓄積部への登録処理を行う、“電話帳に登録する”を使用者の入力を待たずに実行する。本実施の形態では、照合に失敗した例を示す。

【0038】

照合に失敗した場合、図4(i)の表示を行う。本表示を行う際に、選択文字列が電話帳情報のどの設定項目に対して登録する情報かを判定して、該当項目にあらかじめ設定を行う。電話番号文字列の情報であれば、電話番号該当部に設定し、電子メールアドレス該当文字列であれば、電子メールアドレス該当部に設定する。インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス該当文字列の場合には、インターネット上の資源を閲覧のためのアドレス該当部に設定する。それ以外の文字列の場合には、氏名設定部に設定を行う。

40

【0039】

文字列の項目の判定は、選択された文字列が数字文字、“+”、“#”、“-”等の電話番号入力時に使用される文字列で構成されていた場合には電話番号と判定し、選択された文字列が、任意文字列、“@”、“.”の組み合わせで構成されている場合には、電子メールアドレスと判定し、選択された文字列が、“http:”で始まる文字列であった場合にはインターネットの資源を閲覧するためのアドレスと判定し、自動設定を行う。設定され

50

た文字列は使用者により修正を行うことができる。自動挿入された以外の未設定項目に関する入力、電話番号、電子メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス、その他の情報を設定させる、MEMOの項目に対する使用者からの入力を受け付け、図4(j)の状態、電話帳情報蓄積部に対して登録を行う。

【0040】

なお、本例では使用者に選択された文字列の照合に失敗した例を記したが、成功した場合、(h)で“電話帳に登録する”が選択されたときに、照合された情報を表示し、(i)で既に設定されている情報に対して修正を行わせる。判定に用いる文字は、使用者に追加設定させるようにしてもよい。

【0041】

以上のように本発明の第3の実施の形態における携帯電話装置は、選択された文字列がどのような情報に該当する文字列かを判断して、あらかじめ、入力項目に設定することができる電話帳情報登録機能(電話帳情報登録手段)を有しているため、電話帳に対する入力項目を少なくすることが可能となる。

【0042】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明は、表示部に表示中の受信電子メールの文字データの中から選択された任意の文字列を電話帳情報蓄積部に登録する電話帳情報登録手段と、前記表示部に表示中の受信電子メールの文字データの中から選択された任意の文字列を電話帳情報蓄積部から検索する電話帳情報検索手段と、前記検索の結果照合された文字列に関連する接続情報の中から選択された発信先に対して発信を行う発信手段とを備えたことにより、使用者が電子メール内の任意の文字列を選択し、その文字列に関連する、電話番号、メールアドレス、インターネット上の資源を閲覧するためのアドレス等の発信先情報の入力操作をすることなく、音声通話や、データ送受信を行うことができる携帯無線電話装置を提供できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態における携帯無線電話装置の構成の一例を示すブロック図、

【図2】図1に示す携帯無線電話装置の動作手順の一例を示すフローチャート、

【図3】本発明の第2の実施の形態における携帯無線電話装置の受信メール内の文字列に関連する情報に対して発信操作を行う際の表示の一例を示す図、

【図4】本発明の第3の実施の形態における携帯無線電話装置の受信メール内の文字列情報を登録する際の表示の一例を示す図である。

【符号の説明】

- A 携帯無線電話装置
- 1 マイクロフォン
- 2 スピーカ
- 3 音声信号処理部
- 4 通信制御部
- 5 制御部
- 6 表示情報制御部
- 7 ディスプレイ
- 8 入力部
- 9 電話帳情報蓄積部

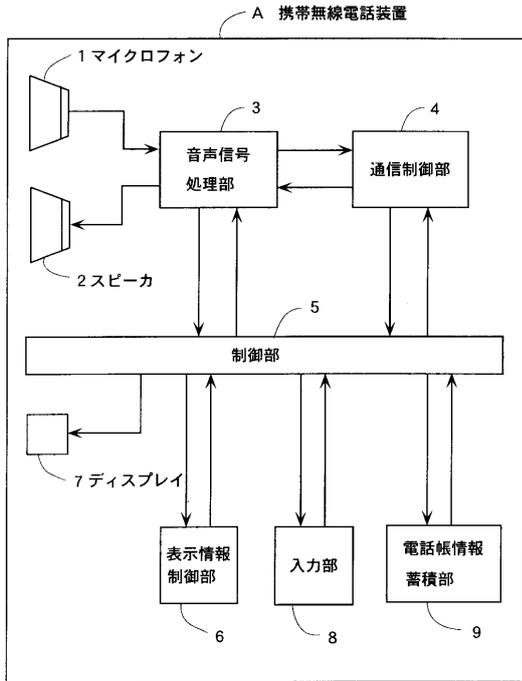
10

20

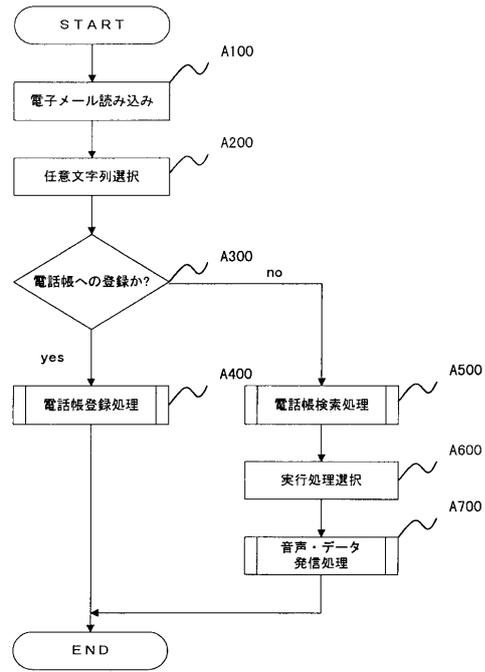
30

40

【図1】



【図2】



【図3】

次回の打ち合わせは3月12日に会議室で行います。詳細に関しては松下太郎まで連絡を下さい。

(a)

次回の打ち合わせは3月12日に会議室で行います。詳細に関しては、**松下太郎**まで連絡を下さい。

(b)

処理を選んで下さい

**発信、発呼する**

電話帳に登録する

(c)

氏名 松下太郎  
 電話 06-444-5555  
**matsushita@matsu.co.jp**  
 http://www.matsu.com  
 MEMO 松下電器産業

(d)

宛先  
 matsushita@matsu.co.jp  
 件名  
 会議の件の問い合わせ

(e)

【図4】

次回の打ち合わせは3月12日に会議室で行います。詳細に関しては松下太郎まで連絡を下さい。

(f)

次回の打ち合わせは3月12日に会議室で行います。詳細に関しては、**松下太郎**まで連絡を下さい。

(g)

処理を選んで下さい

発信、発呼する

**電話帳に登録する**

(h)

氏名 松下太郎  
 電話  
 http://www  
 MEMO

(i)

氏名 松下太郎  
 電話 06-444-5555  
 matsushita@matsu.co.jp  
 http://www.matsu.com  
 MEMO 松下電器産業

(j)

---

フロントページの続き

- (72)発明者 佐藤 仁司  
宮城県仙台市泉区明通二丁目五番地 株式会社 松下通信仙台研究所内
- (72)発明者 横井 茂樹  
神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

審査官 浦口 幸宏

- (56)参考文献 特開平10-301869(JP,A)  
特開2000-059493(JP,A)  
特開平10-155038(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 13/00  
H04B 7/24- 7/26  
H04M 1/00  
H04M 1/24- 1/62  
H04M 1/66- 1/82  
H04M 99/00  
H04Q 7/00- 7/38